

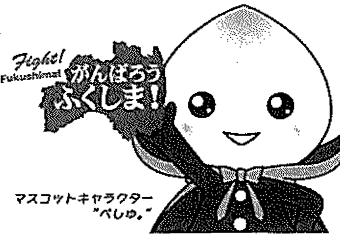


- 教育長リレーエッセイ
学校・家庭・地域の連携により心豊かな子どもの育成を…………… 島根県教育委員会教育長 今井 康雄 1

特集 ■ 教育の情報化

- 巻頭論文
「教育の情報化ビジョン」への期待…………… 慶應義塾学事顧問・同大学教授 安西 祐一郎 2
- 解説
教育の情報化ビジョンについて…………… 生涯学習政策局参事官（学習情報政策担当） 4
- 事例紹介
①21世紀にふさわしい学びの実現に向けて～平山小学校の挑戦～
…………… 東京都日野市立平山小学校長 五十嵐 俊子 8
②教育日本一をめざして～教育の情報化の取組～…………… 茨城県つくば市教育委員会 11
③校務の情報化について…………… 熊本県教育委員会 14
- 有識者論文
特別支援教育におけるICTの可能性…………… 東京大学先端科学技術研究センター教授 中邑 賢龍 17
- 解説
・「英語をはじめとする先導的デジタル教材の開発」「学びのイノベーション事業」について
…………… 生涯学習政策局参事官（学習情報政策担当） 20
・教育分野におけるICT利用のための情報通信技術面に関するガイドライン(手引書)2011について
…………… 経済省情報流通行政局情報通信利用促進課 23
・ICTを活用した生涯学習支援～実証的調査研究の成果から～
…………… 生涯学習政策局参事官（学習情報政策担当） 27
・学校及び社会教育施設における情報通信機器・視聴覚教育設備等の状況調査について
…………… 生涯学習政策局参事官（学習情報政策担当） 31
・平成22年度教育ICT活用実践研究全体報告会について…………… 生涯学習政策局参事官（学習情報政策担当） 34
- 資料…………… 36
-
- 調査・統計
平成23年3月新規高等学校卒業者の就職状況(平成23年3月末現在)に関する調査結果…………… 児童生徒課 38
- 資料
平成23年度文部科学省第1次補正予算の概要…………… 46
- シリーズ 地方発！我が教育委員会の取組
子供の体力向上東京大作戦！「総合的な子供の基礎体力向上方策(第1次推進計画)」…………… 東京都教育委員会 59
- 教育長紹介…………… 63
- 教育関係法令Q & A (第57回)
幼稚園と保育所を一体化した施設の検討状況について…………… 初等中等教育企画課 64
- お知らせ
・平成23年春の叙勲 地方教育行政功労で9人が受章…………… 65
・「平成23年版科学技術白書表紙絵・デザインコンクール」の受賞作品が決定しました…………… 66
・第35回全国高等学校総合文化祭 ふくしま総文…………… 70
・文部科学省公式Facebookページの開設について…………… 73
- ひとりごと…………… 74

集めよう創造の輪 思いをつなぐはほの空
 第35回全国高等学校総合文化祭
 2011
 ふくしま総文
 平成23年8月3日～7日 開催



平成23年8月3日(水)から8月7日(日)までの5日間の日程で、第35回全国高等学校総合文化祭(大会愛称:ふくしま総文)が福島県内4市2町で開催される。この大会は、芸術文化活動に取り組んでいる全国の高校生が参加する、高校文化部活動の祭典としては日本最大のイベントであり、同時期に開催される(本年度は北東北3県で開催)する高校総体に倣い、「文化部のインターハイ」とも呼ばれている。

● 東日本大震災の影響について

まず、3月11日に発生した東日本大震災により、福島県内も大きな被害を受けた。浜通り地域には津波が襲い、中通り地域は地震による家屋の倒壊、施設への被害が発生した。また、東京電力福島第一原子力発電所の事故により、周辺地区の住民に避難指示が出されるなど、多くの県民が県内外への避難を余儀なくされている。そのような状況で、第35回全国高等学校総合文化祭の開催について検討を進めてきた。

開催会場施設が被災し、大会期間中までに復旧が難しい会場や、施設に被害がなくとも避難所として利用されていたり、市役所などの行政機能の移転先となっているなど、大会期間中に使用できない会場も発生した。そのため、県内での代替施設を探した結果、すべての部門に

ついて会場を準備することができないものの、会場を一部変更するなどして、福島県内では総合開会式及び15の部門を開催することとした。また、書道と放送の2部門については生徒を募集せず、作品のみ収集し審査を行うこととした。

なお、演劇部門、郷土芸能部門については、全国高等学校文化連盟の各専門部の協力をいただき、演劇部門を香川県で、郷土芸能部門を岩手県で開催することとなった。

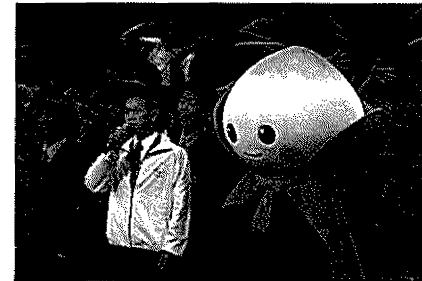
● 開会行事

例年大会初日に開催される総合開会式は、日程及び会場を変更し、2日目の8月4日(木)、会津若松市の會津風雅堂において開催する。

福島県の東日本大震災復興スローガン「がんばろう ふくしま!」をテーマに、全国でも優秀な成績を誇る音楽を主体としたステージを開催し、文化の力による福島県の復興をアピールする。

例年、国際交流事業として海外の高校生を招待し、国際交流ステージを行うこととなっているが、招待した4か国のうち、ハワイ、ブラジル、中国の3か国は残念ながら参加辞退となり、韓国の高校生が出場を予定している。

バレードは、マーチングバンド・パントワリング部門出場団体が出場者の中心であり、部門大会の中止により参加団体が見込めないことから中止することとなった。



ブレ総合開会式での生徒実行委員長の御礼

● 部門大会

(1) 規定部門

本年度から規定部門となる自然科学部門を加えて19部門を開催する予定であったが、震災の影響により福島県内では15部門の開催となった。コンクール形式の日本音楽、写真、弁論、新聞、自然科学、競技形式の囲碁、将棋、小倉百人一首かるた、フェスティバル形式の合唱、器楽・管弦楽、吟詠剣詩舞、作品展示形式の美術・工芸、文芸を開催し、日ごろの研さんの結果を披露し、交流を深める。放送、書道は作品審査のみ行う。

(2) 協賛部門

福島県独自の開催部門として、特別支援学校、産業・交流の2部門を開催し、展示、実演、発表などを開催する。

● 開催準備状況

平成21年11月に第1期生徒実行委員会が発足し、主にPR活動を行った。昨年6月には第2期生徒実行委員会が発足、業務別委員会50名と部門別部会131名の計181名が、各業務、部門の活動を行っていた。

震災後、さまざまな行事が中止され、開催決定を発表するまで不安な思いを抱いていたが、開催が決定し、生徒実行委員会のスローガン「笑顔になる、ふくしま!」をキーワードに、開催する各部門での準備や、広報活動、ブログでの情報発信等を行っている。

● 安全、安心の大会運営のために

東日本大震災の余震や、原子力発電所事故を受け、参加者に対して安心してふくしま総文に参加していただけるよう、公式ホームページやTwitter、メール配信等により、正しい情報をタイムリーに発信する。直前での計画の大幅な変更を余儀なくされ、多数の関係者の方々にご迷惑をおかけしたが、「ふくしま総文」の成功に向けて、万全の準備を進めていく。

平成23年7月10日発行

著作権所有 文 部 科 学 省

発 行 者 文 部 科 学 省
東京都千代田区霞が関3丁目2番2号

印 刷 者 大日本法令印刷株式会社 代表者 田 中 國 睦
東京都千代田区神田錦町3丁目18番寿ビル2F

本誌に掲載した記事中、意見にわたる部分については、それぞれ筆者の個人的見解であることをお断りいたします。